第18回ニュージーランド大使杯
The 18th NEW ZEALAND Ambassador Cup

ニュージーランド大使杯とは？

三多摩リーグと首都リーグの代表チームが毎年12月上旬に行なう定期戦。
貴賓席に駐日ニュージーランド大使をお迎えし、勝利チームには大使から記念のカップが手渡される。

【誕生の経緯】

ニュージーランド大使杯（以下「NZ大使杯」）は、1992年に第1回大会が開催されました。
「一般市民が日々の研鑽の目標とし、誇りを持って臨めるような機会を一般市民の手によって創出したい」という理念を掲げ、三多摩リーグが首都リーグに呼びかけることにより年1回の代表チームによる定期戦開催案が浮上しました。上記の理念を掲げるに至ったのは、当時いくつかのクラブがNZ遠征を行い、そこで垣間見たクラブライフに感銘を受け、NZをモデルにした地域リーグを作り上げたいとの思いを募らせたことに端を発しています。
そしてその思いは、「名誉を形に」という願いと合わさって、「もし大使から勝利者カップを授与されたなら」との発想に結びつきました。これに対し、当時曼荼羅クラブ（三多摩リーグ所属）の一員としてプレーしていたデビット・ジョル氏、同曼荼羅クラブでNZ大使館職員でもあったジョン・マタイラ氏らが快く協力を約束し、熟意を持って関係者に働きかけた結果、そして何より当時の駐日NZ大使の御厚意によって、「NZ大使杯」は誕生しました。

☆三多摩ラグビーリーグ
1978年発足。過去10年間で3度の全国クラブ大会優勝経験を持つ「曼荼羅クラブ」をはじめ多摩地区に拠点を置く6クラブ（2010年度現在）が所属する。

☆首都クラブラグビー連盟
1975年発足。東京23区に拠点を置く18クラブ（2010年度現在）が所属する。強豪クラブを数多く抱える東京都クラブシーンの老舗リーグである。

NZ大使杯戦績

		首都		三多摩
1	1992	●	—	○
2	1993	◐	—	●
3	1994	●	—	○
4	1995	●	—	○
5	1996	●	—	○
6	1997	●	—	○
7	1998	●	—	○
8	1999	●	—	○
9	2000	○	—	●
10	2001	○	—	●
11	2002	●	—	○
12	2003	●	—	○
—	2004	◐	—	○
13	2005	●	—	○
14	2006	●	—	○
15	2007	●	—	○
16	2008	●	—	○
17	2009	●	—	○

首都3勝、三多摩15勝
*2004年は交流戦として実施

2010年 第18回ＮＺ大使杯 開催要項

2010年12月5日（日）
首都・三多摩ＯＢ杯　11:00 Kick Off
選抜戦（稲城協会会長杯）12:30 Kick Off
代表戦（ＮＺ大使杯）　14:00 Kick Off

試合会場：稲城市中央公園 総合グラウンド
※地図参照

会場へのアクセス：
稲城駅から バス長峰・若葉台行き 「中央公園」下車
若葉台駅から バス稲城駅行き 「中央公園」下車
稲城市内循環バス（iバス）「総合グランド前」下車



第17回NZ大使杯 代表戦＆選抜戦 結果、出場メンバー

三多摩リーグ代表

#	Name	Team	Pos.
1	伊藤 元英	武蔵野ラガーズ	
2	若 浦士郎	マンダラ東京	
3	福野 圭	マンダラ東京	
4	大谷 隆司	NSCラガー	
5	西村 祐馬	多摩クラブ	FW
6	石川 正博	武蔵野ラガーズ	
7	高橋 吾朗	多摩クラブ	
8	岡本 信児	マンダラ東京	
9	池田 暁	マンダラ東京	HB
10	野田 拓郎	マンダラ東京	
11	ゲレンディンドニー	多摩クラブ	
12	田中 勝利	日野レンジャーズ	TB
13	海福 幸雄	武蔵野ラガーズ	
14	正川 喜弘	マンダラ東京	
15	佐福 哲	マンダラ東京	FB
16	吉福 大輔	武蔵野ラガーズ	
17	青野 友輔	日野レンジャーズ	
18	川口 豊	多摩クラブ	
19	伊福 唯一郎	マンダラ東京	Re.
20	松尾 勉巳	日野レンジャーズ	
21	堀田 悠	NSCラガー	
22	佐福 甲介	マンダラ東京	

得点

三多摩 前半	三多摩 後半		首都 前半	首都 後半
3	3	T	1	3
1	2	G	1	0
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
27	19	計	7	15
46		合計	22	

反則

PK	PK		PK	PK
8	2	前半	2	0
4	0	後半	2	0
10	2	合計	4	0

首都リーグ代表

#	Name	Team	Pos.
1	中川 博厚	てんとう虫	
2	奥富 雄一	鎧クローバー	
3	中島崇一郎	オールジンジャン	
4	原田 哲也	オールジンジャン	FW
5	黒澤 宣史	オリバーズ	
6	中山 健	てんとう虫	
7	加藤 剛史	オールジンジャン	
8	梶川 修吾	オールジンジャン	
9	福井雄一郎	オールジンジャン	
10	菅井 篤志	オールジンジャン	HB
11	桃野 芳文	オールジンジャン	
12	中山 昌彦	てんとう虫	TB
13	坂下 勇樹	ジンライジャンズ	
14	寺平 貴輝	てんとう虫	
15	黒又 悠介	オリバーズ	FB
16	山本 康介	オールフランス	
17	クリス・ルーカス	東京外人クラブ	
18	バティ・カヤイ	東京外人クラブ	Re.
19	金井 良樹	富士クラブ	
20	寺井 直樹	オールジンジャン	
21	宮崎 和彦	てんとう虫	
22	高橋 トモヒコ	オールジンジャン	
23	智原 仁	東京外人クラブ	

三多摩リーグ選抜

#	Name	Team	Pos.
1	吉島 大輔	武蔵野ラガーズ	
2	河野 雄志	多摩クラブ	
3	竹内 領平	マンダラ東京	
4	北内 常樹	多摩クラブ	FW
5	山本 孝明	マンダラ東京	
6	浜田 佳春	多摩クラブ	
7	黒田之輝	NSCラガー	
8	小林 敏樹	武蔵野ラガーズ	
9	鈴木 浩介	武蔵野ラガーズ	HB
10	古屋 哲志	NSCラガー	
11	広島 央行	マンダラ東京	
12	関城 雅樹	武蔵野ラガーズ	TB
13	松下 生	武蔵野ラガーズ	
14	鈴木 誠太郎	マンダラ東京	
15	鈴 智昭	武蔵野ラガーズ	FB
16	鈴谷 和泉	多摩クラブ	Re.
17	沼尻 治幸	武蔵野ラガーズ	
18	島山 雅夫	NSCラガー	
19	川口 豊	多摩クラブ	
20	鈴巻 大輔	NSCラガー	
21	佐藤 修一郎	マンダラ東京	

得点

三多摩 前半	三多摩 後半		首都 前半	首都 後半
3	1	T	0	2
1	0	G	0	2
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
17	5	計	0	14
22		合計	14	

反則

PK	PK		PK	PK
5		前半	8	0
3		後半	3	0
8		合計	11	0

首都リーグ選抜

#	Name	Team	Pos.
1	筑後 孝夫	湘安ピアーズ	
2	金崎 智明	オリバーズ	
3	前田 正人	ぜんかいピアーズ	FW
4	藤沢 公博	ぜんかいピアーズ	
5	長嶋 浩平	モッコスクラブ	
6	坂本 祐介	オリバーズ	
7	大羽康史	オールジンジャン	
8	伊藤 和久	オールジンジャン	
9	嶋広 大輔	ノーサイドクラブ	HB
10	荻野 浩史	てんとう虫	
11	渡部 浩行	てんとう虫	TB
12	片岡 明	オールジンジャン	
13	須井 良基	ホッキョクオーレ	
14	菅谷 国平	湘安ピアーズ	FB
15	服部 日出人	富士クラブ	
16	野口 賢司	ダンデライオンズ	Re.
17	鶴嶋 文喜	ノーサイドクラブ	
18	山田 大志	ぜんかいピアーズ	
19	西川 和彦	ぜんかいピアーズ	
20	岡田 義剛	富士クラブ	
21	アレスター・ニモ	東京外人倶楽部	
22	ジョセフ・チャートン	オールフランス	
23	島田 政信	オールジンジャン	

昨年度出場選手のコメント



首都　桃野芳文
（オールジンジャン）
昨年度主将

伝統と格式あるニュージーランド大使杯のグランドに立ち、勝利する事は東京都のクラブラガーにとって大きな栄誉です
首都リーグ代表は、今年こそ大使よりカップを賜るべく全力でプレーします。



三多摩　佐藤甚選手
（マンダラ東京）
昨年度主将

さまざまなプレーヤーとともに真剣勝負ができることに大いなる光栄を感じています。
今年も三多摩リーグとして万全の準備で臨み勝利したいと思います。首都・三多摩の両リーグが切磋琢磨しあい、東京都クラブを盛り上げて行きましょう。

シニア戦開催に向けてのコメント



首都リーグ　中野克哉
（てんとう虫）

日常においてなかなか無い緊張感、それがこのNZ大使杯シニアではあじわえます。リーグ内で切磋琢磨しあったメンバーとチームを組み三多摩に立ち向かい、今年もまた勝利の美酒を！！

≪シニア戦詳細≫

・両リーグのOBチームのover35を中心に結成（～50歳までのメンバーが出場予定）
・シニアルールに30分ハーフで実施予定。
・過去大使杯参加メンバーは是非参加ください！

☆シニアの活躍もお見逃しなく！☆

シニア戦昨年度試合結果



